

アイデア、咲かせます！

(株)タナック 石早 葵さん 清水 彩さん

リーダー 杉山順司さん



労働力人口が減少を辿るなか、国が推進する「一億総活躍社会」の実現に向けて、「女性の活躍」への期待は益々高まる一方です。もはや日本の経済成長にとって欠かせない女性の力。それをいち早く効果的に取り入れ、成功へと向かっている企業がシリコーンをはじめとする超軟質ゲル製造のトップメーカー(株)タナックです。新製品開発を任されている女性社員、石早 葵さん、清水 彩さん。そしてリーダーの杉山順司さんにお話を伺いました。

シリコーンでのものづくり

(株)タナックは、美容・ヘルスケア用製品から、医療・ロボット・航空宇宙向等々「シリコーン」^{*1}に関わる幅広い分野の製品の製造加工販売メーカーです。

平成8年、社長の棚橋一成さんが創業。医療製品が主軸の中、「美容・ヘルスケア商品」では、通信販売で販売する商品のOEM^{*2}に特化し、これまでに、1,000アイテムを超える商品の製造実績を上げています。常にお客様のニーズに合わせて、様々な細かい依頼にも応えられる体制を整えていく中で、いつしか自社ブランド商品を作つてみたいという夢を形にしたと考えるようになりました。

そして2年前、これまでに培った技術を發揮すべく「美

容と健康」をテーマにした新たな商品開発チームを発足することに至りました。

そこで選ばれたのが石早 葵さんと清水 彩さん。そしてリーダーには、これまで他の商品企画に携わってきた経験者の杉山順司さんでした。

石早さんは、選ばれた当時のことを「社長からの『男性には考えもつかない女性ならではの発想で、使い勝手のいいものやかわいいものなど、自分たちが『欲しい』と思う意見をどんどん出してほしい』との言葉に、とてもやり甲斐を感じました」と振り返ります。

「女性ならでは」という期待と、プレッシャー

入社から2年。挫折も数々味わいました。

出展したギフトショーでは「この新人では話にならない

女性目線を活かしたオリジナル商品開発へ

チーム発足にあたり、棚橋社長には「女性活躍社会」の推進に向けた人材育成を目指したいという強い想いがありました。

そこで選ばれたのが石早 葵さんと清水 彩さん。そしてリーダーには、これまで他の商品企画に携わってきた経験者の杉山順司さんでした。

石早さんは、選ばれた当時のことを「社長からの『男性には考えもつかない女性ならではの発想で、使い勝手のいいものやかわいいものなど、自分たちが『欲しい』と思う意見をどんどん出してほしい』との言葉に、とてもやり甲斐を感じました」と振り返ります。

「女性ならでは」という期待と、プレッシャー

入社から2年。挫折も数々味わいました。

出展したギフトショーでは「この新人では話にならない

い」と思われているよう、社会人としての力のなさを痛感し、悔しい思いをしました。

通信販売と店頭販売という市場の違いを痛感し、そもそも『女性ならでは』の商品とは何だろう?と、行き詰まり、焦り、何とかアイデアを出したくて、數え切れないほどのお店を巡りました。

そうするうちに、店頭にたくさん陳列された商品の中から「パツ」と目を引き、手に取つてもらえるものとは何か、パッケージや流行のキーワードは何か、察する目が養われきました。

気が付けば、2人は2年余りの間に毎月約5点、計100点を超える商品開発案を出し続けていました。

そうして数え切れないほどの試行錯誤を重ねた末、2人はこの上ない自信をもつて互いに企画を提出しました。

石早さんはゲル製耳リング『ミミリン』。

これは女性が憧れる「小顔」を目指す商品で、短時間で手軽に使用できることが特徴。この「短時間」・「手軽」は現代の女性に支持を集めるキーワードです。

そして清水さんは、シリコーン製『肌パフ』。女性が化粧用具として使用する「パフ」を、医療の現場で活用されておりオーリジナル素材・タフシリコン[®]を使用し、肌に近い感触を再現しました。さらに「清潔感」と「簡単にプロ並みの仕上がり」を手に入れることができる、女性にとつて「神」のような商品です。

どちらもまさに女性の目に留まり、手に取ることを第一のコンセプトに開発しました。完成した商品を前に、杉山さんは「ほんとうに頼もしくなったな」と、目を細めます。

「責任」があるから、努力できる



今、自分たちが開発した商品が「タナック」の名前で

世の中のほんの少しだけ先を行く発想を

やわらかく、しなやかに多くの方が「笑顔」になれるような

商品を開発していきたい。

彩、美しき季節到来。

さあ、次はどのアイデアの引き出しからどんな花を、咲かせましょうか。

岐阜商工 月報 2018.3